

製品名: NRK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14899**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	174kDa

抗原情報

遺伝子名	NRK
別名	
遺伝子 ID	203447.0
SwissProt ID	Q7Z2Y5
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

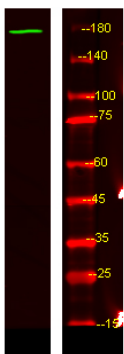
Nik 関連キナーゼ (NRK) ホモサピエンス この遺伝子のマウス相同遺伝子は、JNK 活性化に必要なタンパク質キナーゼをコードする。コードされているタンパク質は、胚発生後期におけるアクチン重合の誘導に関与している可能性がある。[RefSeq 提供、2010 年

6月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: 胚発生後期において、コフィリン-1をリン酸化してアクチン重合を誘導する可能性がある。TNF- α 誘導シグナル伝達経路に関与する。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。STE Ser/Thrタンパク質キナーゼファミリー。STE20サブファミリー。類似性: 1つのCNHドメインを含む。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、

研究分野

代謝; 経路とプロセス; 補因子、ビタミン/ミネラル; ビタミン/ミネラル; シグナル伝達

画像データ



HEK293の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は1:1000希釈。二次抗体は1:10000希釈。